

ギガパワーリストーブ メタルクラブ

この製品はアウトドア用に開発された屋外専用の分離型こんろです。屋内、車内、テント等では使用しないでください。一酸化炭素中毒死や酸欠により窒息死の恐れがあります。屋外であっても狭い空間では換気にご注意ください。使用中または使用直後は器具が熱くなっていますので火傷には十分注意してください。また、お子様が手を触れないようにご注意ください。

スノーピークの燃焼器具は全数燃焼テストを実施して出荷しております。燃焼テストによりゴトクやバーナーヘッド、風防などが若干変色していますがご了承ください。

取扱説明書

この度はスノーピーク製品をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。永く安全にご使用いただくためにも本取扱い説明書を必ずお読みください。また、読み終わったあとも大切に保管してください。説明書内に疑問や理解出来ない内容があった場合は、使用前に必ず弊社までお問い合わせください。

本取扱い説明書における警告と注意について

⚠ **警告:**取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

⚠ **注意:**取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険、及び物的損害の発生が想定されることを示します。

本製品は、自動着火装置は装備されていません。必ずマッチまたはライターを携帯してください。圧電式のライターは気象条件により着火しない場合があります。

警告

本製品は、容器を倒立させ、液化石油ガスを濃縮された液体のまま取り出し、燃焼させる「液出し方式」です。容器を正立に使用する従来の燃焼器具と燃焼のシステムが異なります。安定した火力を安全にご使用いただくために、「**液出し方式**」の**特性をよくご理解のうえ**、正しくご使用ください。

警告 <専用容器以外は絶対に使用しない>

指定の専用容器以外は絶対に使用しないでください。また同じスノーピークの容器であっても、指定以外の容器は使用できません。

警告 <点火は必ず弱火で行う>

点火は必ず弱火で行い、ジェネレータパイプ（気化装置）を徐々に暖めます。強火にする場合は炎の状態を確認しながら行ってください。ジェネレータパイプが暖っていない状態で強火での点火または、点火直後に強火にしますと、濃縮された液体がそのまま排出され大きな炎が上がり危険です。

警告 <ジェネレータについて>

ジェネレータパイプは絶対に変形させないでください。変形させると正常燃焼しなくなります。

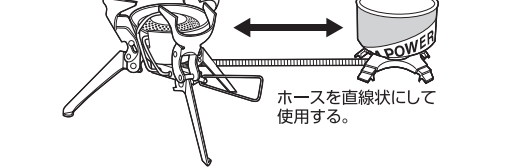
警告 <容器正立にし、消火する>

容器をゆっくりと正立にし、10秒間燃焼させてから、火力調節ツマミで消化してください。

容器を正立にすると、容器から出るガスが、濃縮された液体から気体になり、ホース内に残っている液体を10秒間で排出することが出来ます。液体が排出されますと、容器取り外しの際の、ホース内の残留ガスを減らすことができ、より安全な消火が可能となります。

警告 <ホースは直線にする>

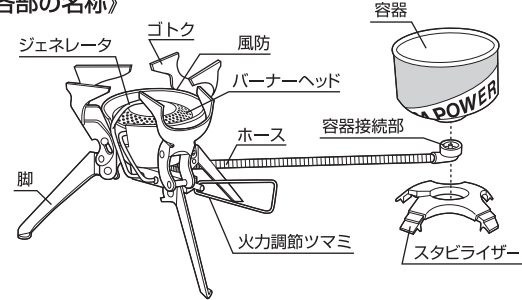
使用に際しては、ホースの曲がりを調整し、ホースを直線にして燃焼器具本体と容器を最大分離し、燃焼部又は調理器具からの輻射熱が、容器に影響を与えないようにして使用してください。容器を正立で使用する従来の燃焼器具と違い、容器内の出力の低下が起き難く、容器が外部の熱の影響を受けやすい構造となっています。



●異常燃焼した時は、すぐに消火する●

容器が燃焼部・調理器具からの輻射熱の影響を受け、異常に加熱されると容器内の圧力が上がり、炎の勢いが強くなったり、大きな赤火が出る場合（異常燃焼）があります。異常燃焼した場合は、危険ですのですぐに消火してください。

《各部の名称》



仕 様

品 名	カセットコンロ（分離型）		
型 式	GS-320		
外 形 寸 法	使用時	142×125×118mm	
	収納時	φ90×H70mm	
重 量	305g		使用鍋径 14cm以下 容量2.0ℓ以下
ガス消費量	212g／h		
出 力	2500kcal		
専 用 容 器	シルバー-OD缶、GP-110S、GP-250S、GP-500S		

●ガス消費量および出力は当社試験室にて測定、算出したものです。
●容器は上の表の、SNOWPEAK専用容器のみをお使いください。

本体の組み立て方

- 1.本体に巻きつけたホースを解き、ホースを直線状にし水平に置きます。ホースが曲がっていたり巻き付きの癖が付いている場合は、ホースを必ず直線に直してください。
- 2.本体に折りたたまれた3本の脚を、それぞれ図のように最後まで回転させ、設置してください。脚の回転と同時にゴトクが開閉します。脚の回転の際は、火力調節ツマミ、ホースに脚が接触しないようにゆっくりと回転してください。ご使用に際し水平で安定した場所に設置してください。

容器の取り付け方

- 1.火力調節ツマミが正面から見て、時計回転方向に回し、完全に閉まっているか確認してください。
- 2.容器の接続部を上にしてまっすぐに立てた状態で、容器のネジ部とホース先端にある容器接続部のネジ部の軸線を合わせ、容器の底から見て時計回転方向に回転させてねじ込み、自然に止まるよりややきつ目に閉めてください。接続部からガスが漏れていない事をシューという音や臭い等で確認してください。
- 3.付属のスタビライザーの脚を開き、容器の接続部に図のような方向に押し込んでください。
- 4.容器を倒立させ、スタビライザーを設置させます。

警告:容器を取り付ける際は、必ず元栓のねじ部並びにOリングに異常が無いことを確認してください。異常が認められたときは容器を取り付けしないでください。

注意:容器の取り付け、取り外しの際は少量のガスが漏れることがあります。火気のあるところや、換気の悪いところでは容器の着脱をしないでください。

操作のしかた

⚠ **警告:**点火の際は、バーナーヘッドの上部に手や体を近づけたり、バーナーヘッドを覗き込まないでください。大きな炎が上がり火傷の危険があります。

⚠ **警告:** 柄の長いマッチやライターを使い、必ず点火口から点火してください。

⚠ **警告:** 点火の際のツマミ操作は必ずゆっくりと行い、弱火で燃焼させてください。ツマミを勢いよく開放すると大量のガスが放出され大きな炎が上がります。また気温が高く、容器の内圧が高まっているときや寒冷時にガスの気化が不十分なときは大きな炎が上がる場合があります。大きな炎が上がってしまったらツマミを絞って炎が安定するまで弱火で燃焼させてください。

⚠ **警告:** 周囲や上方に燃えやすいものがないことを確認してください。

- 1.点火方法
柄の長いマッチやライターを使い、バーナーヘッド上で、予め火をつけてから火力調節ツマミを正面から見て反時計回転方向（左回転）に回し点火します。点火できない時は、一旦火力調節ツマミを閉めてからやり直してください。
注意: 点火する時は、周囲に燃えやすいものがない事を確認してください。水平で安定した場所で点火してください。燃焼中は傾けたり持ち運ばないでください。
- 2.火力調節
火力調節ツマミを反時計回転方向（左回転）に回すと、火力が大きくなり、時計回転方向に回すと小さくなります。火力調節はゆっくりと行ってください。
- 3.消火方法
容器をゆっくりと正立にし、5秒間燃焼させてから火力調節ツマミを時計回転方向に火が消えるまでゆっくりと回します。完全に火が消えたことを確認してください。容器を外す時は、消火後十分に器具を冷やしてください。

専用容器の取り外し方

- 1.使用後は器具が高温になっています。十分に冷ましてください。
- 2.容器の接続部を上にし、スタビライザーを外し、容器と器具をまっすぐに立て、取り付け時とは反対の方向に容器を回して取り外してください。容器には必ずキャップを取り付けて保管してください。

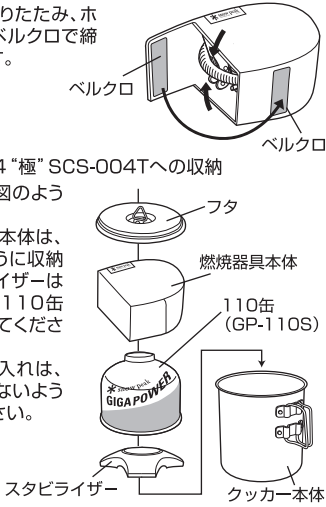
収納のしかた

- 1.開いた3本の脚を、それぞれ図のように内側に最後まで回転させます。同時にゴトクが運動し内側に収納されます。脚の収納の際は、火力調節ツマミ、ホースに脚が接しないように注意してゆっくりと行ってください。
- 2.本体の上から見て、時計の回転方向（右回り）にホースを本体に巻きつけます。この際、ホースは3箇所のゴトクの凹部に巻き付けるようにしてください。
- 3.本体上部に、脚を折りたたんだスタビライザーを乗せ、本体といっしょにケースに収納します。

- 4.ケースは上下を内側に折りたたみ、ホースが開かないように、ベルクロで締め付けるように固定します。

- 5.ソロセット“焚”SCS-004“極”SCS-004Tへの収納

“焚”“極”への収納は右図のような位置関係となります。ケースに入った燃焼器具本体は、ゴトクが下向きになるように収納してください。スタビライザーはケースに収納しないで、110缶容器の底の凹部に収納してください。また“焚”“極”への出し入れは、クッカーの内側を傷つけないように、ゆっくりと行ってください。



使用上の注意

ガス漏れのあるもの、衝撃を受けたもの、正しく作動しなくなったものは使用しないでください。

- 1.高出力で調理を続けると鍋などの取っ手やツマミを損傷することがあります。鍋底をはみ出すような大きな炎で調理しないでください。
- 2.調理の目的以外に使用しないでください。
- 3.使用する前に器具栓にゴミやホコリが付着していないことを確認してください。器具栓は常にきれいにし、不用意に地面に置くなどしないでください。ゴミやホコリが付着すると出力を低下させたり、ガスが出ないなど故障の原因になります。
- 4.ご使用になれる鍋は直径14cm容量2.0ℓを目安にお選びください。大きすぎる鍋は輻射熱によるトラブルや不安定になり転倒するなど危険です。
- 5.調理中は、鍋の輻射熱で床面が熱くなります。バーナーシートなど熱を反射するものを敷いてご使用ください。
- 6.気温や容器の温度によりガス圧が変化し燃焼状態（炎の具合やパワーなど）が変化します。
- 7.強い風や煮こぼれ等で火が消えることがあります。使用中は目を離さないでください。
- 8.異常燃焼が起こったときは速やかに消火し使用を中止してください。
- 9.炎があたる部分や炎に近い部分は金属が焼けて変色します。
- 10.ガス臭がしたら、決して着火しないでください。全ての火や炎を消火してください。容器を取外してください。

点検・手入れのしかた

- 1.定期的に点検、手入れを行ってください。
- 2.ご使用になる前に器具が正常に動作することを確認してください。
- 3.煮こぼれしたときは、必ず布などでバーナーの清掃を行ってください。
- 4.故障または破損したと思われるときは使用しないでください。
- 5.お客様による修理は危険です。万一具合が悪くなった時はお買い求めになった販売店または弊社にご相談ください。

故障・異常の見分け方と処置のしかた

原 因	専用容器を使用していない	容器のネジの異常	器具栓の故障	容器の取り付け不十分	スピンドル不良	容器の異常	バーナー部の目づまり	ノズルの目づまり
専用容器が取り付けられない	✓	✓	✓					
ガスが漏れる			✓	✓	✓	✓		
点火しない						✓	✓	✓
火力が弱い						✓	✓	✓
炎が不揃い							✓	✓
使用中に消える						✓	✓	✓
消火しない			✓		✓	✓		
処 置 方 法	使用する	新しい容器と交換する	点検修理を依頼する	容器の取り付け確認	点検修理を依頼する	新しい容器と交換する	汚れをおとす	点検修理を依頼する

- 上記の内容をご確認頂き、なお異常のあるときやお分りにならないときは、お求めの販売店または弊社にご相談ください。
- 消火しない場合は周囲の安全を確認し、ガスがなくなるまで燃焼させてください。

アフターサービス

お買い求めいただきました製品は万全を期していますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社にご連絡ください。製造上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換をさせていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。また、以下のような場合は修理できないこともありますので予めご了承ください。

- 1.素材の経年劣化による損傷など製品の寿命。
- 2.誤った使い方や粗雑な取扱いによる故障。
- 3.改造による故障。
- 4.取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障。
- 5.不測の事故による製品の故障。
- 6.その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
- 7.ゴミやサビによる故障。
- 8.分解した事による不具合の発生又は破損。
- 9.落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
- 10.磨耗によるパーツの変化それによる不具合。
- 11.他社製品との組み合わせによる故障。

株式会社スノーピーク

〒955-8616 新潟県三条市三貫地958
tel:0256-38-1110 fax:0256-38-1015

www.snowpeak.co.jp

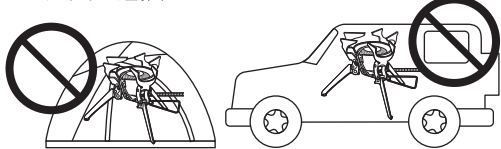
安全上の注意事項

ご使用前の注意

警告

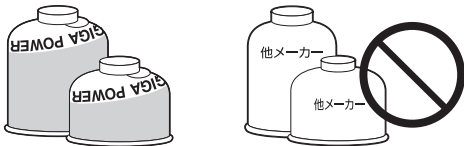
テントの中や車中、屋内では絶対に使用しないでください。

この器具は屋外専用です。屋外であっても狭い空間では換気にご注意ください。使用中は酸素を大量に消費します。限られた空間での使用は一酸化炭素中毒死、酸欠による窒息死の恐れがあります。また火災の危険もあります。



警告

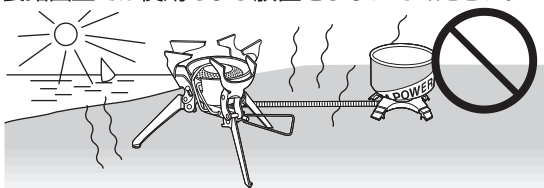
この器具には指定のsnowpeak専用容器をご使用ください。それ以外の容器は使用しないでください。また、snowpeakであっても使用できる容器が定められていますので、裏面の「専用容器」をご覧ください。



■理由 ■専用以外の容器はバルブ形状、ノズル太さなど規格が異なります。この基本設計の違いでガス漏れが発生し引火や火災あるいは異常燃焼を起こすことがあります。スノーピークの容器は最適なパフォーマンスを発揮するための配分を調整しています。

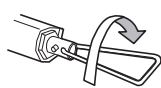
警告

夏場など、焼けて熱い砂浜や川原の石の上、あるいは舗装路面上では使用および放置をしないでください。



■理由 ■直射日光を受けた砂浜や川原の石あるいは舗装路面上は高温になっています。その上に容器を放置したり、器具を使用すると容器が過熱され内圧が急激に上昇し異常燃焼をしたり爆発することがあります。

警告



容器を接続する前には、必ず器具栓ツマミを時計回転方向に回し器具栓が閉じていることを確認してください。

■理由 ■収納時や運搬時に器具栓が開いてしまうことがあります。容器接続の際は器具栓が閉まっていることを確認してください。

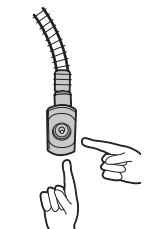
警告



容器の装着は器具を垂直に立てた状態で行い、決して締めすぎないでください。

■理由 ■新しい状態の容器は液状のガスが上部まで入っています。斜めに傾いた状態で取り付けると液状のガスが勢いよく噴出することがあり大変危険です。周辺に火気がないことを確かめ、垂直に立てて装着してください。容器と器具を接続するネジは大変重要な部分です。過大な力で締めこんだり、斜めにねじ込んだりするとガス漏れの原因になります。

警告



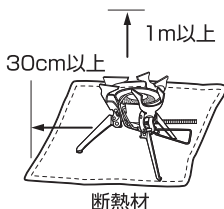
容器接続部分のゴム製のOリングはご使用の都度点検し、摩耗や損傷があるときは弊社若しくは販売店にご相談ください。

■理由 ■容器の取り付け、取り外しでOリングが摩耗します。また、ゴム製のOリングは使用しなくても劣化します。劣化したり損傷したOリングを使用するとガス漏れの原因となります。

警告

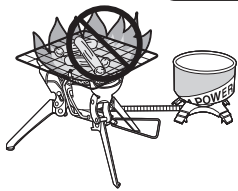
燃えやすいものから上は1m以上、周囲30cm以上離しストーブの下には断熱材を敷いてご使用ください。

■理由 ■風向きにより炎の熱は横方向や下方に流れます。上方には強く伝わりますので火災にならないように燃えやすいものは十分な距離を保ってください。また、鍋からの輻射熱で床面の温度が上昇し、火災の危険がありますので器具の下には断熱材を敷いてください。



ご使用中の注意

警告



器具で炭の火起こしは絶対にしないでください。

■理由 ■器具を炭の火起こしに使用すると器具そのものやフューエルホース、容器を異常に加熱してしまいます。大変危険ですので絶対に行わないでください。

警告

一つの調理器具に複数の器具を並べて使わないでください。

■理由 ■大きな鍋や鉄板など複数の器具を使用するとお互いの炎で、容器が異常加熱し、容器の内圧が急激に上昇し爆発の危険があります。

警告

天ぷらや揚げ物などの調理はしないでください。

■理由 ■なべやフライパンが油の温度により蓄熱し、輻射熱が大きくなり、専用容器の内圧が急激に上昇し、爆発の危険があります。

警告

風防や天ぷらガード、石などで器具を囲まないでください。

■理由 ■風防や天ぷらガード、石などで囲むと容器が異常に熱を吸収してしまいます。その上にナベなどをのせるとフタをしてしまいう形になり異常に温度が上昇して爆発の危険がありますので絶対にしないでください。

警告

ヒーターや焚火など、他の熱源があるところでは使用しないでください。

■理由 ■他の熱源により容器が異常加熱し、容器の内圧が急激に上昇し爆発の危険があります。

警告



鉄板や焼網、セラミクス製品、くん製機などは使用しないでください。

■理由 ■鉄板や焼網、セラミクス製品、くん製機などは輻射熱が大きくなり容器が異常加熱し、容器の内圧が急激に上昇し爆発の危険があります。

警告

火がついたまま傾けたり振ったり、持ち運ばないでください。

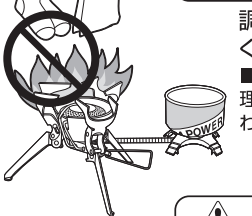
■理由 ■風等で炎が流れたり、炎が急に大きくなるなどして火傷を負う危険があります。

警告

水平で安定した状態でお使いください。

■理由 ■傾斜していたり不安定な状態で使用すると、転倒し火傷や火災の危険があります。

警告



調理以外の目的に使用しないでください。

■理由 ■暖房や衣類の乾燥など、調理以外の使用は火災や火傷、酸欠など思わぬ事故につながる場合があります。

警告

フューエルホースを強く折り曲げないでください。また、保管中に付いたフューエルホースの巻き癖はまっすぐに直し、確実に容器を本体に固定してお使いください。

■理由 ■フューエルホースを強く折り曲げると、ホースや接続部分が破損することがあります。



保管と廃棄の注意

警告

爆発等の危険がありますので容器は完全に使い終わってから他のゴミと区分して捨ててください。また、長時間器具を使わないときは容器を取り外してください。器具は付属の収納ケースに入れ、容器にはキャップを取り付けて保管してください。

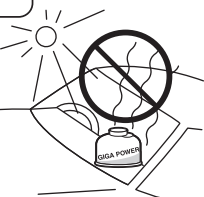


■理由 ■器具栓が不用意に開きガスが漏れることがあります。器具並びに容器の接続部分にゴミやホコリが付着すると故障の原因になります。

警告

容器は40度以下の場所で保管してください。

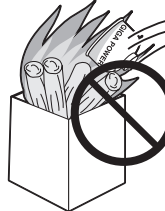
■理由 ■外気温の上昇とともに容器の内圧も上昇します。40度を超えるところや、直射日光の当たるところには保管しないでください。



警告

空の容器でも火の中に投げたり他の熱源のそばに置かないでください。

■理由 ■空になった容器でも、微量のガスが残っています。火の中に投げたり他の熱源のそばに置くと内圧が上昇し爆発することがあります。



警告

お子様の手の届かないところに保管してください。

■理由 ■お子様に危険が及ばないように、器具や容器はお子様の手の届かないところに保管してください。



注意

容器を時々点検してください。

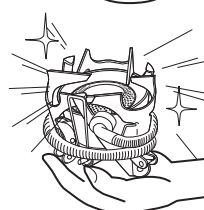
■理由 ■時々容器を点検して、もしサビが発見できた時は、早めに使い切ってください。



注意

使用後は点検・清掃をして、器具をケースに入れ保管しましょう。

■理由 ■ストーブに付着した水分・ホコリやゴミが目づまりやサビを起し故障の原因となります。次回問題が出ない様に点検・清掃をしましょう。



その他の注意

警告

お客様による修理や改造は絶対にしないでください。

■理由 ■器具や容器は精密に作られています。改造は性能低下になるばかりか不完全燃焼やガス漏れの原因になることがあります。修理に関しては、販売店または弊社へお問い合わせください。



警告

容器は航空機に持ち込めません。

■理由 ■法律により、容器を航空機に持ち込むことはできません。



危険

容器のガスを故意に吸い込むこと厳禁。

■理由 ■もしガスを吸い込むと、酸欠のため窒息死します。絶対にしないでください。



警告

再充填は絶対にしないでください。

■理由 ■専用容器は再充填し、繰り返し使用するように設計されていません。危険ですので絶対にしないでください。

株式会社スノーピーク

〒955-8616 新潟県三条市三貫地958
tel:0256-38-1110 fax:0256-38-1015
www.snowpeak.co.jp